

# やまがた 労福協 NEWS No.36

発行所／一般社団法人 山形県労働者福祉協議会 〒990-0044 山形市木の実町12-37

TEL 023-641-6503 FAX 023-641-6830 URL <http://yamagata.rofuku.net/> 2020.1.1



## 福祉はひとつ

一般社団法人山形県労働者福祉協議会 理事長 小口裕之

謹  
賀  
新  
年

新年おめでとうございます。皆様にとって良い年となりますようご祈念申し上げます。

さて、昨年は中央労福協結成70周年を迎えました。戦後、物資が不足し国民生活が困窮する中、労働組合と生協が一体となり労福協運動が誕生いたしました。労働者の衣食住再建を柱に、労金・共済運動など相互扶助の精神で次々と労働者福祉運動が立ち上げられました。人口の増加、高度経済成長の中、様々な技術が革新され、確かに、わたしたちの生活は大変便利になりました。しかし、その陰で労働者の低賃金・長時間労働や健康被害などがあったことを忘れてはなりません。

そして、今、日本は毎年発生する自然災害や大幅に人口が減少するという、これまでに経験のない状況に直面しています。現在抱える環境問題や人口減少・高齢化社会を乗り越えるためには、これまでのような経済成長の追求から、付加価値の適正な分配による一人ひとりの生活水準を高めるなど、環境や人にやさしい構造に大きく転換することが求められています。合わせて、生活をより豊かにし地域コミュニティーを維持する上にも希薄となった人間関係を再構築することが必要です。

この間、多くの皆さんのご尽力・ご協力で積み上げてきた労働者福祉運動こそ、みんなで支え合う社会の仕組みづくりに寄与するものと確信しています。

「福祉はひとつ」を合言葉に私たちの力で相互扶助の未来をつくってまいりましょう。

皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈りし、挨拶といたします。

解決の糸口をあなたと一緒に考えます

**生活** なんとも **相談**

法律、労働、借金、就労など、  
生活に関する各種相談を受付中

**0120-39-6029**

受付時間 平日 10~16 時、相談無料・個人情報厳守

**生活あんしんネットやまがた**

山形市木の実町 12-37 大手門パルズ 4 階 (山形県労福協内)

求職者の総合相談窓口

住まい

生活資金

就労

能力開発

県内8ヶ所で出張相談会も実施しています！

**0800-800-7867**

利用時間 月~金曜日 9:30~18:00

土曜日 10:00~17:00

**山形県求職者総合支援センター** 運営:山形県労福協 (県受託事業)

山形市双葉町 1-2-3 山形テルサ 1 階ハローワーク プラザやまがた内



連合山形  
会長代行 設 樂 正

新年あけましておめでとうございます。  
昨年は春の統一地方選挙、夏の参議院議員選挙と大きな選挙が重なる年でした。参議院議員選挙山形県選挙区では「はが道也」さんが見事当選を果たし、統一選で多くの推薦候補者が勝利を勝ち取ることができました。改めて御札を申し上げます。

参院選後に臨時国会が開かれましたが、新たに任命された大臣が統一選で辞任し、今度は安倍総理自身が、公的行事である「桜を見る会」を私物化していた疑いが発覚したにもかかわらず、国会での国民に対する説明責任を放棄しています。

また、この7年間、安倍政権がスローガンとして掲げた数々の政策や公約は、何一つ実現されていません。アベノミクスは破綻して景気は後退し、労働者の実質賃金は低下を続け、格差と貧困、老後不安が拡大しています。

今月から始まる通常国会には、年金・医療・介護において、国民にさらなる負担増・給付減を求める法改正が提案されますが、これではますます格差が広がり、将来不安が増すばかりです。雇用の安定と暮らしの安心を取り戻し、平和を次代につなげていくためにも、何としても安倍政治にストップをかける一年にしていかなければなりません。

昨年12月に連合山形は結成30周年を迎えるました。あらためて誰一人取り残さない社会、頑張っている人こそ報われる社会をめざすことが私たちの活動の原点であることを認識し、向こう1年活動を進めていきます。本年が皆さまにとって良い年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。



全国労働者共済生活協同組合連合会  
山形推進本部本部長 熊 澤 年 啓

明けましておめでとうございます。  
ご家族共々輝かしい希望に満ちた新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。  
昨年中は、数々のイベントの催しを通して、皆様とのふれあいや助け合いの輪を広げることが出来ましたこと、心から御礼を申し上げます。また、『全労済』から新たな愛称『こくみん共済coop』に定めて以降、注目度が高まっていると感じています。

今年は、世界規模のスポーツイベントが日本で開催され、経済的にも大変盛り上がりが期待されます。半面、終了後の経済力が低下することも心配されます。今の社会・経済情勢は、変動性・不確実性・複雑性・曖昧性が混雜するVUCA（ブーカ）と称される難しい局面にあると言えます。こうした情勢の下、『こくみん共済coop』の事業は、人口減少と少子高齢化・社会的貧困層の増加・個の多様性・大規模災害の多発などにいかに対応をしていくか、という課題に直面しています。それらの対応には、未来への指針=New-Zetworkを力強く進めていく事が社会的責任と考えています。

また、社会的潮流として、社会価値・経済価値・環境価値の実現が求められており、SDGsも意識した取り組みをも進めていきます。このねずみ年にふさわしく、私達『こくみん共済coop』も愛称が名実ともに浸透し、子孫繁栄の如く、こくみん共済coopのファンづくりに邁進してまいりますので、今年もご指導・ご鞭撻の程よろしくお願い致します。



労働者福祉中央協議会  
会長 神 津 里季生

新年明けましておめでとうございます。  
中央労福協は昨年、結成70周年を迎え、11月の総会で「労福協の理念」と今後の活動の指針となる「2030年ビジョン」を決定しました。私たちは、これに基づき、すべての働く人の幸せと豊かさをめざし、連帯・協同の力で「安心・共生の福祉社会」を実現するための取り組みを進めていきます。

今こそ、貧困をなくし「誰ひとり取り残さない」包摂的で持続可能な社会をめざすSDGsの目標達成や、「助け合い・支え合い」を社会に根づかせていくために、私たちが真価を發揮する時です。労働運動と労働者福祉事業の「ともに運動する」関係を強化し、多様なセーフティネットや共助の輪を広げ、安心して働き暮らせる社会をつくりましょう。

これからも「福祉はひとつ」という労福協の原点を大切にし、それぞれの多様性を認め合いながら、様々なネットワークで「つながる運動」を広げ、ともに新しい社会や時代を切り拓いていきましょう！



東北労働金庫山形県本部  
本部長 大 泉 敏 男

新年おめでとうございます。昨年中は多大なご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

2019年は自然災害の多い年となりました。今も不自由な生活を強いられている方々には、心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興・復旧をご祈念いたします。ろうきんでは「災害救援ローン」等、労働者の生活に寄り添う取組みを第一として、これからも取組んで参ります。

東北労働金庫山形県本部の昨年11月末の実績は、個人預金が対期首比+71億円、個人融資が対期首比+79億円となり、年間目標を達成する見込みにあります。これもひとえに、会員や県労福協、県生協連をはじめとする関係団体の皆様のご支援ご協力の賜物であり、心から感謝申し上げます。本年も変わらぬご指導ご鞭撻をいただけますようお願い申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。



山形県生活協同組合連合会  
会長理事 菅 井 道 也

2020年、おめでとうございます。

2020年は、庚子（かのえ・ね）。変化が生まれる状態、新たな生命がきざし始める状態を表しているとも言われています。変化の始まる年です。何を変えるか。思い浮かべるものは、皆さん、同じではないでしょうか。いろいろな格差・不平等、政治、消費税、働き方、教育、原発……

一方で変えてはいけないものがあります。平和憲法です。

2020年、県生協連は、会員生協の交流・連帯を促進する活動、平和・くらし・地域を守る活動、ユニセフ募金活動、生協への理解を広げる活動を行い、「いつまでも住み続けられるまちづくり」をめざしていきます。

本年が、皆様の思いがかなえられる良い年になることをご祈念申し上げます。



(一社)山形県勤労者福祉センター  
専務理事 館 内 悟

新年あけましておめでとうございます。  
旧年中は皆様より、勤労者福祉センターの各種イベントや会議・宴会などの利用拡大にご協力いただきましたことに、改めて感謝と御礼を申し上げます。

本年も、経営諸施策への取り組みや、一般社団法人として勤労者及び県民のための福祉活動の推進、地域社会の健全な発展のための地域貢献活動を推進するとともに、利用しやすい大手門パルズをめざし、役職員一同、良質なサービスを心がけていく所存であります。

2020年が皆様にとって素晴らしい年となることをご祈念申し上げ、新春のご挨拶といたします。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。



(一社)山形県経済社会研究所  
理事長 立 松 潔

新年のお慶びを申し上げます。本年も旧年に増して何卒よろしくお願ひ申し上げます。  
さて、昨年は様々な出来事があり、めまぐるしい一年となりました。国際的には、日米の貿易紛争、EU離脱、TPP11の発効、日米貿易協定の締結などがあり、国内的には統一自治体選挙、参議院選挙、各首長選挙、働き方改革関連法、入管法施行、消費税10%、そして庄内沖地震、甚大な台風被害が発生しました。これらが国内、県内経済にも影響し、私たちの暮らしも見通せない状況となっています。当研究所といたしまして、日々刻々と変化する情勢を的確に捉え、時宜に応じた適切な研究と提言に努めてまいります。皆様方のご指導とご協力につきまして、よろしくお願ひ申し上げます。

本年はオリ・パライヤー。国際色豊かで、幸せな穏やかな一年になりますことをご祈念いたしまして、新年のご挨拶といたします。



田川地区労働者福祉協議会  
会長 工 藤 博

新年あけましておめでとうございます。  
皆様におかれましては、健やかな新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

田川地区労働者福祉協議会は構成団体の連帯を中心に、①労金・こくみん共済coopを活用するライフプランセミナーの開催と福祉事業の充実、②勤労者体育祭やクリーン作戦などの社会貢献、③弁護士・司法書士による無料相談の定期開催など、勤労者の生活向上に取り組んできました。

引き続き、自治体や関係団体のご理解ご協力のもと、地域に暮らす勤労者と家族が安心して暮らしていける社会を目指して活動していくので、皆様方の変わらぬご支援・ご協力をよろしくお願ひいたします。



(公財)山形県勤労者育成教育基金協会  
事務局長 渡 辺 治 雄

明けましておめでとうございます。旧年中は基金協会の事業にご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

協会は1993年(平成5年)11月1日に設立し、山形県の産業経済の発展に寄与することを事業目的にその役割を發揮して、2012年には公益法人の認定を受けました。

設立からの主たる事業であります利子補給事業については、27年間の補給者数が3,025名、補給額は3億6,050万円余を数えます。また、2015年からは「県内就職の促進と労働知識向上の支援」の事業を付加し、「やまがた企業ガイド」と「労働ハンドブック」の発行を通して、県内外の学生へ情報を発信してまいりました。

教育や労働を巡る環境は時とともに変遷していますが、設立の趣意書で謳う「有為な人材の育成と県内における就業の促進」を希求してまいりますので、本年も変わらぬご指導をお願い申し上げます。



飽海地区労働者福祉協議会  
会長 佐 藤 克

新年あけましておめでとうございます。  
健やかな新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、旧年中は格段のご高配を賜りましたこと、厚く御礼申し上げます。

飽海地区労福協では他地区と同様、ビアパーティーなどを開催しながら構成団体相互の連帯を深めるとともに、労金・全労済運動の推進、最上川河川敷のボランティア清掃、自治体への要請活動に加え、婚活パーティーなどを開催して地域に生きる若者の激励にも取り組んでいます。地域の活性化のためにも、連帯・協同でつくる安心・共生の福祉社会の実現こそ労福協運動がめざすものです。この姿勢は今後も変わることなく、受け継がれていくでしょう。

本年が皆様にとって素晴らしい年になることを祈念しながら、引き続きご支援とご協力をお願い申し上げます。



最上地区労働者福祉協議会  
会長 今 田 美津良

新年明けましておめでとうございます。  
また、旧年中は最上地区労福協の取り組みに対し、特段のご理解とご協力を賜りましたことに心より感謝を申し上げます。

最上地区労福協では、ゴルフコンペの開催や地域貢献活動としてクリーン作戦を行い、秋のクリーン作戦後には芋煮会を開催して参加者の皆様と親睦を深めて参りました。また、ご退職予定者に向けた説明会を開催し、退職金の運用、退職後の保障設計、年金の受け取り方など将来不安の払拭を目的とした活動を行ってまいりました。

これからも連帯・協働で、地域の活性化と共生できる福祉社会の実現に向けて、地域に根ざした活動を展開して参りますので、引き続きご支援とご協力をお願い申し上げます。

本年が皆様によりまして、素晴らしい年となりますよう心からご祈念申し上げ新年のご挨拶とさせていただきます。



北村山地区労働者福祉協議会  
会長 鈴木 学

新年明けましておめでとうございます。  
皆様方におかれましては、健やかな新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、日頃の当地区労福協活動へのご理解に心より御礼申し上げます。

さて、昨年12月の日銀短観では、県内企業の業況は過去5年間で最低となる等、私たちの生活改善の動きは停滞している状況にあります。

こうした状況の中、私たち労福協は、無料法律相談会の開催や生活困窮者に対する家計改善支援業務へ積極的に関わる等、「貧困」や「格差」のない社会実現に向けて取組んできました。

本年につきましても、地域に根ざした労働者福祉活動と、福祉社会への貢献活動を軸とした活動を行なってまいりますので、引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。



西村山地区労働者福祉協議会  
会長 増川 英司

新年あけましておめでとうございます。  
皆様方におかれましては、健やかな新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、日頃の当地区労福協活動へのご理解に心より御礼申し上げます。

さて、景気回復が実感できない中、マイナス金利政策による家計への損失の影響が大きいと言われ、さらに「年金」や「老後資金不足問題」の報道は、多くの国民に将来への不安を与える結果となりました。

こうした状況の中で地区労福協は、今後もしっかりと地域に根ざした運動を定着させ、「不安」と「格差」のない安心して暮らせる社会を実現させるために構成団体と生活者の連帯で運動を展開してまいります。

本年もどうぞよろしくお願いします。



天童地区労働者福祉協議会  
会長 横山 仁志

新年明けましておめでとうございます。  
旧年中は皆様より何かとご協力を頂きましたこと、心より御礼申し上げます。

さて、昨年は10月の消費税増税により家計への負担が増え、景気が停滞している中、直面する課題に向け一層努力が必要となっています。

労働者を取り巻く環境は、企業における人手不足感が高まっており、その影響については引き続き注視が必要です。また、2019年4月から施行された働き方改革にて労働条件の改善が期待されますが、依然として我々労働者を取り巻く環境は厳しい状況です。

今年も、皆様のご協力を賜りますようお願いさせていただき、新年の挨拶とさせていただきます。何卒よろしくお願いいたします。



山形地区労働者福祉協議会  
会長 岡田 洋輔

新年あけましておめでとうございます。  
旧年中は山形地区労福協の取り組みに対し、特段のご理解とご協力を賜り心から感謝申し上げます。また、会員の皆様におかれましては、健やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

山形地区労福協では「人とくらし、環境に優しい福祉社会を実現しよう！」をスローガンに運動を展開してまいりました。具体的には、はたらく仲間の文化まつりや勤労者体育祭、学生を対象とした労働教育支援事業や、地域奉仕活動としてクリーン作戦などを実施し、労働者福祉の向上に取り組んでまいりました。

本年も、はたらく仲間と家族が安心して暮らしていく社会を目指して、労福協運動を進めてまいりますので、ご理解とご協力をお願い申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。



上山地区労働者福祉協議会  
会長 枝松 直樹

新年あけましておめでとうございます。  
先月、日経新聞に「安いニッポン」という特集記事が掲載されました。モノやサービス、住宅価格、賃金までもが国際比較で際立って安いというのです。インバウンドが好調な裏には、こういう事情が大きく影響しているようです。

アメリカ住宅都市開発省の調査では、サンフランシスコの年収1400万円の4人家族を低所得者に分類しているといいます。失われた30年を経て、日本は賃金が低く、貧しい国に転落。賃金は上がりず購買力が低下、物価も低迷、デフレの負の循環に陥っています。今年の春闘では大幅賃上げが必要です。

本年は衆院選の決戦です。真っ当な政治を取り戻すために共に力を合わせて頑張りましょう。

新年あけましておめでとうございます。  
本年も旧年中に変わらず、労働者福祉の向上のためにお力添えを賜りますよう、よろしくお願いいたします。

さて、私の周辺を見渡すと、消費税増税と時同じくして、近所のお店がいくつも閉店しました。大規模店舗との競争で耐えてきた小売店ばかりではなく、今回は飲食店も廃業が目立ちました。後継者不足、不景気、そして増税がダメ出しだったようです。

私たちの地域の厳しい状況を見ると、私たちは豊かな社会の在り方そのものの転換を迫られているように感じます。その解決策は、地域の中の支えあい、労働者・生活者同士の支えあい、生産者・消費者同士の支えあう「組合主義」の意識の向上と具体的行動の中にこそあると思います。

無闇な競争から生まれるものではなく、支えあい、協力し合う共感の中から生まれる「真のもの」こそ、私たちは大切にしなければならないと思うのです。

助け合い、支え合い、ともに生きてゆく。その決意を新たに、本年も諸課題の解決に向けて前進してゆきましょう。皆さまの労福協への結集を引き続きお願いします。



西置賜地区労働者福祉協議会  
会長 田 中 恵 介

新年あけましておめでとうございます。  
この度西置賜地区労働者福祉協議会会長に就任しました。皆様に教えを請うことや、不慣れな部分もたくさんありますが、お力添えをいただきたいと思います。

県内の経済状況は、山形県経済月例報告では「景気状況は穏やかに回復の動きがみられるものの、消費税増税後の個人消費については弱さがみられるものの、持ち直している」と報告されています。

しかし、実際はどうでしょうか。消費税増税による負担増、働き方改革が掲げられているものの改革がされている実感できるまでに至っているでしょうか。

こうした状態の中で、私たち労福協が地域で働く皆様とその家族の皆さん的生活の向上に向けて、様々な取り組みを取っていくことが重要になってくると思います。

最後になりますが、本年も会員皆様のますますのご活躍と、この一年が幸多い年でありますことをご祈念しまして新年の挨拶とさせていただきます。よろしくお願ひいたします。



米沢地区労働者福祉協議会  
会長 安 部 照 薫

新年明けましておめでとうございます。  
旧年中は、当地区労福協に対しまして特段のご指導を賜り、心より感謝申し上げます。

私たち労働者を取り巻く環境は依然として厳しく、「社会保障の給付と負担」、「自然災害や環境問題」、「エネルギー問題」、「安全保障」など、まだまだ課題が山積しています。

これらに対して、将来を見据え、その解決に向けた取り組みに参画し、社会的責任と役割を果たしていかなければなりません。

個々人の価値観が多様化している現代社会において、お互いの違いを認め合いながらも、一つにまとまっていく求心力と地域に根ざした運動を進めていきたいと考えます。

今年も皆様のご協力を賜りますようお願い申し上げ、新年のあいさつとさせていただきます。どうぞよろしくお願ひいたします。



山形県労福協顧問  
弁護士 設 楽 作 巳

明けましておめでとうございます。  
昨年は政治的には、一党多弱の状況で、安倍首相は明治以来最長期政権を維持しました。金融緩和、財政出動、成長戦略の3本の矢を実行し、円安、輸出拡大、企業利益の増大をもたらした功績は評価できる。他方、賃金がその割に上がらなかつたことは、マイナスの一面だったと思います。

そして、昨年の後半は、首相招待の桜を見る会が、マスコミ世論を賑わしました。もともと桜を見る会は、各界の功労のあった人を招待するのがたてまえというのです。

しかるに、下関市では安倍事務所に申し込めば、誰でも桜を見る会に参加できる趣旨の書面を配布していた、というですから、これは公的行事の私物化の典型だろう。

これなどは長期政権のおごりでしょう。そろそろ、長期政権の交代期と思うのですが、適切な人物の存在が誰か懸念されるのですがどうでしょうか。

山形県労福協顧問  
弁護士 植 田 裕

新年あけましておめでとうございます。  
東京に行くと周りが外国からの方ばかり、ということは今では当たり前ですが、山形でも外国の方々の姿が顕著になってきました。

改正入管法は、その実行体制がまだ不十分なため、改正の影響はまだ表に現れていないと思われます。国外の方に安心して働いてもらえることは当然ですが、国内の労働者保護をおろそかにしてはならないのも、忘れてはいけない視点です。

働き方改革がいよいよ大詰め段階に来ています。同一労働・同一賃金、変形労働時間等、私達がきちんと監視し、検証すべき制度改革ということを、労働者保護の立場に立って意識的に把握することが大事ではないでしょうか。

皆様のご多幸をご祈念申し上げます。

## 第72回労働者体育祭山形県大会（続報）

前回号に掲載できなかったソフトバレー競技の結果をお知らせします

### ソフトバレー

日程：11月4日（月・振休）

会場：山形県総合運動公園「アリーナ」

順 位	チーム名（地区名）
優 勝	西広消バレー愛好会（西村山）
準優勝	山形市職労（東南村山）
第3位	花 王（飽海）、寒河江市職労A（西村山）



【優勝】西広消バレー愛好会

西村山地区代表（寒河江市）

高い運動能力とチームワークで初出場・初優勝を果たした。

今年から西村山地区大会が初開催となり、過去最多の16チームにて、白熱かつ和気あいあいとした試合が展開された。

## 新理事長に小口裕之氏が就任



11月21日に「第57回臨時総会」および「第12回理事会」を開催し、昨年11月から理事長を務められた水戸吉一氏（連合山形常任顧問）が辞任し、新理事長に小口裕之氏（連合山形会長）が就任しました。



就任にあたり小口新理事長は「働く仲間の厳しい状況は続いている、何とか良い方向に改善したいと思っています。その中で労働者福祉運動は中核をなす運動だと思っており、引き続き皆様方からお力添えいただきながら、労福協運動をさらに充実・発展させていきたい」と挨拶しました。

## 山形県に県政の労働者福祉の拡充を要請

「山形県と県労福協の懇談会」を11月27日に山形県自治会館にて開催し、小口理事長から若松副知事に「県政の労働者福祉拡充に関する要請書」を手交しました。要請項目は、格差・貧困社会の是正やセーフティーネットの強化、ディーセント・ワークの実現、安心・信頼できる社会保障の構築など、大きく8項目（下記参照）です。

懇談会には、山形県から若松副知事はじめ関係所管課長など計14名、県労福協側は各加盟団体代表者など計14名が出席しました。若松副知事は「今年度から所得向上促進アドバイザーを設置し、正社員化・所得向上促進事業奨励金および業務改善奨励金の利活用を図るなど働き方改革の推進に努めています。労働者福祉の向上に引き続き取り組んでまいりますので、なお一層のご理解とご協力をお願い申し上げます」と挨拶されました。

その後、要請項目のうち、子ども食堂の運営補助、職場のハラスメント防止、被災者・避難者支援への生活支援、カスタマーハラスメントなどについて、各所管課長等と意見交換を行いました。



### 県政の労働者福祉拡充に関する要請（概要）

- SDGs（持続可能な開発目標）の達成と協同組合の促進・支援山形県におけるSDGs推進、協同組合支援の強化など
- 「補助金」「委託料」の増額と「支援・対策資金」の継続措置など県労福協が受託する各委託業務の継続、東北労働金庫山形本部との提携融資制度の継続、（公財）山形県労働者育成教育基金協会「利子補給制度」の周知協力等
- 大規模災害等の被災者支援と復興・再生および防災・減災対策の強化被災者・避難者への生活支援、今後の災害対策
- 格差・貧困社会の是正、セーフティーネットの強化教育の機会均等（奨学金制度等の拡充・改善）、生活困窮者自立支援事業の拡充・強化と体制整備、生活保護基準の見直しに伴う住民生活への影響への対応、子どもの貧困・虐待対策の強化、フードバンク活動の促進、自死・多重債務対策、住宅セーフティーネットの拡充
- 消費者政策の充実強化地方消費者行政の充実・強化、消費者団体の公益的活動に対する支援、カスハラの抑止、地域における消費者教育の推進など
- ディーセント・ワークの実現障害者雇用の促進、職場におけるハラスメントの防止、ワーク・ライフ・バランスの推進
- 安心・信頼できる社会保障の構築子育て支援、多世代・多機能型福祉拠点の充実など
- くらしの安全・安心の確保水道の安全・安心の確保、灯油支援（福祉灯油）



## 奨学金問題に関する街宣行動



「奨学金の返済に関する相談会（全国一斉11/10、山形県単独11/15～16実施）」の実施にあたり、その周知及び奨学金問題の世論喚起のため街宣行動を、10月25日は七日町大通りにて、11月5日は山交ビル前にて行いました。チラシとティッシュ（労働金庫提供）を2日間で900セット配布したほか、奨学金制度の拡充と教育費負担の軽減について拡声器を使い世論喚起を行いました。



なお、同相談会には全国7件、山形1件の相談が寄せられました。

中央  
労福協

## 「結成70周年記念レセプション」 「第64回定期総会」を開催

### 労福協の理念

すべての働く人の幸せと豊かさをめざして、  
連帯・協同で安心・共生の福祉社会をつくります

中央労福協は1949年8月に結成し70周年を迎えました。11月28日には「結成70周年記念レセプション」が開催され、各県労福協、事業団体、行政、NPO、市民団体などから422名が参加し、これまでの活動を振り返り、今後の活動の充実への決意を確認し合いました。

また、翌29日には「第64回定期総会」が開催され、2018~19年度活動報告、労福協の理念（上記参照）、2030年ビジョンなど提案された全議案が承認されました。なお、役員改選により事務局長を4年間務められた花井圭子氏が退任（参与に就任）し、新たに南部美智代氏（連合参与）が就任しました。



### 地区労福協の活動紹介

## 天童地区労福協30周年記念事業

天童地区労福協は、今年4月で創立30周年を迎えました。これを記念し10月25日に「緑の迎賓館アンジェリーナ」にて42名参加のもと記念事業を開催しました。

第一部の「記念講演会」では、地元天童市の酒蔵である「出羽桜酒造株」仲野営業部長兼社長室長より「吟釀を世界の言葉に」をテーマに講演をいただき、第二部の祝賀会では、出羽桜酒造株の日本酒飲み比べで美味しいお酒を堪能し、ミッチャーチェン氏のアトラクションで多いに盛り上がるなかで、今後の労福協運動の強化と更なる前進を参加者全員で誓い合い、成功裡に終了することができました。



## 生活なんでも相談 Q&A

No.29

Q.

高齢の母は一人暮らしをしています。（週2回デイサービス利用）

最近、母の認知症が進んできている気がして心配です。とくに「詐欺被害に遭った」「高額な商品を購入させられた」といった高齢者のニュースを目にすると、他人ごとではなく感じています。

母には、私の家の同居を勧めていますが「住み慣れた家で余生を送りたい」「今のご近所仲間と離れたくない」と拒んでいます。

高齢の母を守るための法的対策はありますか？

A.

認知症は知的能力の不可逆的な減退をいう、とされていますが、本問では「進んできている」というだけで、その程度が分かりませんので、まず専門医の診察を受けることをお勧めします。法律上、認知症について直接的な手当て、対策は見

当たりませんが、民法は「精神上の障害による事理を弁識する能力」の強弱程度によって対応

〈回答：設楽作巳弁護士〉

を異にしています。

『①その能力を欠く常況にある者、②著しく欠く者、③不十分である者』です。

家庭裁判所は申立てがあれば、医師の意見、被申立て人の意見等を聞き、申立てが相当の場合、①につき後見開始、②につき保佐開始、③につき補助開始の決定をし、それぞれ、後見人、保佐人、補助人を選任します。

本問の場合、断定的ではありませんが、上記③該当かと思いますので、家庭裁判所に③の申立てをしてみてはどうでしょうか。

補助開始の決定があれば、補助人が選任され、重要事項については補助人の同意のない本人の行為は取り消しが可能なので心配はなくなります。



和洋折衷  
Aプラン  
お料理6品  
お一人様  
5,500円  
ご提供期間] 2020.2/16~4/30  
大手門パルズ TEL.023-624-8600  
〒990-0044 山形市木の実町12-37 <https://otemonpals.jp> 検索 ご予約、お問合せは  
大手門パルズ  
TEL.023-624-8600  
〒990-0044 山形市木の実町12-37 <https://otemonpals.jp> 検索 インスタグラムやってます! @otemon\_pals

新しくなった

# こくみん共済

個人生命共済・子ども定期生命共済・老年定期生命共済・蓄蓄共済・個人賃貸責任共済・修身生命共済・個人医療生命共済

2口

総合 保障タイプ

月々の掛金 1,800円

▶ 加入できる方 満18歳～満64歳の健康な方

- 死亡保障は最高1,200万円！
- 入院は1日目から、日額は最高5千円！

※総合保障タイプ [2口] の場合

2口

医療 保障タイプ

月々の掛金 2,300円

▶ 加入できる方 満18歳～満64歳の健康な方

- 先進医療の保障は最高1,000万円！
- 入院保障は1日目から日額1万円保障！

※医療保障タイプ [2口] の場合

2口

こども 保障タイプ

月々の掛金 1,200円

▶ 加入できる方 0歳～満17歳の健康な方

- 入院保障は最高365日分、日額1万円！
- 子育て・教育のエキスパートがサポートするサービス「こども相談室」をご提供！

※ここに記載している内容は、共済の概要を説明したものです。ご契約の際には、「ご契約のてびき(契約概要・注意喚起情報)」等を必ずご覧ください。

こくみん共済〈全労済〉山形推進本部 (山形県労働者共済生活協同組合) 山形市城南町1-18-22 TEL.023-646-4666(代)

全国労働者共済生活協同組合連合会 COOP

「こくみん共済 coop」は営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地の共済生協の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。

**利子補給制度対象  
教育ローン ふるさと奨学ローン**

卒業後、山形県内に就職・就業すると、利子補給が受けられます！

**利子補給制度**

本ローン対象のご本人・ご親族が卒業後山形県内に就職または就業した場合は、それ以降の利子に対して返済終了まで元金300万円を限度に、年2.0%が公益財団法人山形県勤労者育成教育基金協会より補給されます。融資金利が年2.0%を下回った場合は、融資金利が利子補給率になります。

**ご融資金額** 最高 1,000万円

**ご融資期間** 最長 10年

公益財団法人  
山形県勤労者育成教育基金協会  
山形市木の実町12番37号 ☎023-635-0101 FAX023-635-0102

東北労働金庫 山形県本部 東北ろうきん 検索 Tel 023-632-6220  
<https://www.tohoku-rokin.or.jp> (受付時間：平日午前9時～午後5時)